

乳幼児期に伝えたい「いのち」と「性」について

一般社団法人大阪府助産師会 豊中班 岡本千加先生にお話をうかがいました。



そもそも性教育とはどのようなことですか？

「性教育」というと身構えてしまう人が多いかもしれませんが、それは性行為や避妊・性感染症予防のことをイメージするからだと思います。性教育の「性」には、自分のころのままに生きるという意味が含まれています。つまり「性教育」とは、『自分の心と体を大切に、自分らしく生きる＝幸せに生きる』ことを伝える「人権教育」です。自己肯定感を育むと同時に、「他者も大切にできる」ことにつながっていきます。世界では現在、性教育とは、性に関する知識やスキルだけでなく人権やジェンダーの平等、多様性、人間関係などを学ぶ「**包括的性教育**」が主流となっています。国際セクシュアリティ教育ガイダンスにて下記に示す8つのキーコンセプトが掲げられています。

8つのキーコンセプト

- ①人間関係
- ②価値観、人権、文化、セクシュアリティ
- ③ジェンダーの理解
- ④暴力と安全確保
- ⑤健康とウェルビーイング(幸福)のためのスキル
- ⑥人間のからだと発達
- ⑦セクシュアリティと性的行動
- ⑧性と生殖に関する健康

ユネスコなどが2009年につくった性教育の方針
国際セクシュアリティ教育ガイダンス ユネスコ編
出版社名：明石書店 出版年月日：2020/08/01

性教育が乳幼児期から必要なのはなぜですか？

月経、妊娠・出産等のしくみなど性教育は思春期に必要なイメージがあるかもしれませんが、より幼いころから始める方が性に対して先入観がなく純粋に聞いてくれますので話しやすいですね。思春期になってから性の話をすることは、素直に聞くのも難しいかもしれませんし、「自分の体を大切にしましょう」と言われても急にできるものでもないでしょう。乳幼児期から生活の中で「**自分のからだは自分のもの、自分のからだは大切なもの**」と伝え、**積み重ねていくことで、からだの自尊感情を高めていくことができる**と思います。

乳幼児期には具体的にどのようなことを伝えたらいいですか？

「からだの自尊感情」や「自己肯定感」を身につけていくためには、まず、子ども自身が保護者や周りの人から大切にされる経験をたくさん積むことが必要です。生まれた時から生活の中のお世話を通して、たくさん話しかけ心地よいスキンシップを繰り返すうちに、自分は大切にされていると感じることができると思います。子どもは自分が生まれた時の話が大好きです。「**生まれてきてくれてうれしいよ。あなたは大切な存在だよ**」ということを伝えられるといいですね。そして、自分のからだを学ぶことも大切です。**からだの名前と働きを知り、からだの全部が大事であるということを伝えます**。その中でも特に「プライベートゾーン・パーツ」について丁寧に話したいですね。

プライベートゾーンとは？ もう少し詳しく教えてください。

プライベートゾーンとは「自分だけの特別なところ」という意味で、水着でかくれる部分(性器、おしり、胸)と口のことを指しています。『プライベートゾーンは見るのも触れるのも自分だけ』『ほかの人のプライベートゾーンは勝手に見ない、触らない』『もしプライベートゾーンを見られたり触られたりしたら、いやだと言っていいよ』**ということをしっかり伝えます**。少し難しいかもしれませんが、「自分のからだに、だれがどこに・どのように触れることができるのかを決める権利は、自分が持っていること」、「お互いを大切にするために、からだに触れるときには相手が同意しているか確認することが必要であること」もぜひ伝えてください。『触られたらいや』といってもいいんだよ、『いいよ』『いやだ』は人によって違うから触れる前に相手に聞くんだよ』『いやだと言われたら必ずやめるよ』など、こどもの年齢に合わせてわかりやすくお話ししてくださいね。たとえ親子や兄弟姉妹であっても境界線(距離感)を守り、同意を取ることが必要です。『おむつを替えるね』『着替えを手伝うよ』など、赤ちゃんの時から言葉をかけていくことや同意なしに勝手にからだに触らないことが大切です。『性教育』は、日常生活のいろいろな場面の中で行われていくものです。

もしも性被害にあった場合には？

もしもの時は、「いやだ」「だめ」と意思表示をすること、その場から逃げること、大人に話すことが大切と伝えてください。

NO: だめ！いやだ！

GO: にげる

TELL: おとなに話す

どんな状況であっても子どもは悪くありません。悪いのは加害者です。**絶対に子どもを叱らないでください**。そして子どもはどう表現したらいいかわからないこともあります。ゆっくりと子どもが安心して話せる環境を保障してあげてください。日頃から困ったときに話せる関係を築いていくこともとても大切ですね。

乳幼児の性教育の強い味方

乳幼児期の性教育の必要性は理解できても「性」について子どもに伝えるのは、難しいことかと思えます。最近では、とてもわかりやすい性に関する絵本がたくさんでていますので、一緒に読むことから始めてみるのはいかがでしょうか。



だいいち だいいち
どこ？
作：遠見才希子
絵：川原瑞丸
出版社：大泉書店



あおい! そうなんだ
わたしのからだ
編著：中野久恵・星野恵
絵：勝部真規子
出版社：エイデル研究所

小学校等 入学準備 について

Preparation for
entering elementary
school

大きな環境の変化に対応できるよう、
心も体も準備しておきましょう。

文具やランドセル、体操服の準備に加え、健康診断や予防接種などの体の準備、早寝早起きなどの生活習慣の準備、そして、もし心身の発達などに不安があるなら、就学相談などで寄り添い方を準備しておきましょう。

Point ①

入学式までの流れを 確認しておきましょう。

10月ごろ

「就学通知書」受け取り

「就学通知書」と一緒に入学に関する案内などを各家庭に郵送します。国立・府立・私立小学校へ入学する場合は、それぞれの学校から発行される入学許可書(それに相当するもの)を豊中市の学務保健課へ提出してください。詳細は就学通知書に記載されている市ホームページでご確認ください。

10月～
12月ごろ

就学時健康診断

就学時健康診断の案内は、郵送等にてご案内します。指定の日時・場所で、集団健診(問診・内科健診・歯科健診・眼科健診・耳鼻科健診・視力検査・聴力検査)を受けてください。

12月～
1月ごろ

入学準備と説明会

説明会等についての案内を各学校のホームページに掲載します。説明会では、小学校等での学習内容の説明に加え、入学前までに身につけておきたい生活習慣などが伝えられますので、家庭での習慣を見直しましょう。

4月ごろ

入学式



予防接種をお忘れなく！

麻しん(はしか)と風しんの定期予防接種第2期が、認定こども園・保育所(園)・幼稚園の年長期に相当する子どもを対象に行われています。この期間を逃すと、任意接種となり有料になりますので、忘れず接種しましょう。
※予防接種の詳細はP.19・20をご覧ください。

焦らず、一步步。こどもが「学校を楽しみになる」安心の声かけ

小学校への入学は大きな環境の変化であり、こどもは期待と同時に不安も抱く時期です。家庭での温かい声かけを通じて、学校への楽しいイメージを育てていきましょう。入学準備の第一歩は、学校生活へのワクワク感を育てることです。「広い校庭でのびのび遊べるよ!」「たくさんのお友だちに会えるよ!」など、楽しい未来が想像できる言葉をかけてあげてください。保護者の前向きな言葉が、こどもの一歩を踏み出す安心感へとつながります。



Point 2

入学に当たって不安なことは相談しましょう。



教育全般に関する不安 「教育相談(電話相談)」

こどもの心理・ことば(発音等)などに関する悩みや、どこに相談してよいのか分からない場合の相談窓口。電話で相談を受け、必要に応じて適切な機関を紹介します。

児童生徒課 教育相談係 ☎06-6840-8121 月～金曜日(祝休日除く) 9:00～17:00

こどもの心理・ことば(発音等)などに関する不安 「教育相談(来所相談)」

要
予約

こどもの心理・ことば(発音等)などに関する悩みについて、臨床心理士や言語聴覚士がお話を伺います。電話予約の上、ご来所ください。原則的に、初回の相談は木曜日の午後です。必要に応じて、継続的に相談を行う場合もあります。

児童生徒課 教育相談係 ☎06-6844-5231 月～金曜日(祝休日除く) 9:00～17:00 / 第2土曜日9:00～12:00

こどもの発達に不安がある場合 「就学相談(対面またはオンライン)」

要
予約

心身の発達に不安があり、学校生活において教育的な配慮を必要としている年長のこどもと保護者を対象とした相談です。就学前に学びの場(通常の学級、通級指導教室、支援学級、支援学校)について情報提供を行い、就学予定の学校へおつながします。

- 1 通っている園に相談し、園から就学相談の希望を「児童生徒課支援教育係」に伝えてもらう。
- 2 未就園または、他府県、他市にお住まいの場合は、直接「児童生徒課支援教育係」に申し込む。

児童生徒課 支援教育係 ☎06-6844-5293 月～金曜日(祝休日除く) 9:00～17:00



支援教育(支援学級・支援学校・通級指導教室)について

豊中市では、障害の有無に関わらず、ともに学び育つことを大切にしています。支援を必要とするこどもは、通常学級のほか、支援学級や支援学校の小学部また、通級指導教室の指導を受けることができます。

- 支援学級・支援学校・通級指導教室についての問い合わせ：

入学前 児童生徒課 支援教育係 ☎06-6844-5293 入学後 入学先の各学校

豊中市の市立小学校・義務教育学校には「放課後子どもクラブ」があります

市立小学校・義務教育学校内で、放課後帰宅しても仕事などで保護者が家に不在の児童を対象に、あそびと生活の場を提供しています。

対 象

次の①と②の両方に該当する児童

- ① 市内に居住するまたは、本市の小学校・義務教育学校に通う小学4年生(支援学級在籍児童は6年生)までの児童及び特別支援学校小学部の児童
- ② 放課後帰宅しても家庭に保護者もしくは保護者に代わる人がいない児童(就労時間・勤務日数など入会条件があります)

時 間

通常開設 放課後～17:00 / 春休み・夏休み・冬休み・その他学校休業日 8:00～17:00
延長利用 17:00～19:00 / 土曜日 8:00～17:00 / 日曜日・祝日 8:00～17:00*

会 費

通常利用：月額6,000円 / 人(同一世帯で2人目からは3,000円)
延長利用：月額3,000円 / 人(同一世帯で2人目からは1,500円)
土曜日：月額1,800円 / 人(同一世帯で2人目からは900円)
日曜日・祝日：月額2,000円 / 人(同一世帯で2人目からは1,000円)*

*休日開設事業については、別途利用申し込み・諸条件あり。詳しくは、下記までお問い合わせください。

問合先

学び育ち支援課 運営係 ☎06-6858-2578 月～金曜日(祝・休日除く) 8:45～17:15

Point 3

小学校・義務教育学校での1日の流れ ～5時間授業のある日の例～



1

8:30

8:30～8:50 朝の会

8:50～9:35 授業 / 1時間目

休憩時間

9:40～10:25 授業 / 2時間目

(15分から20分) 休憩時間

10:45～11:30 授業 / 3時間目

休憩時間

11:35～12:20 授業 / 4時間目

12:20～13:00 給食

休憩時間

13:05～13:25 掃除

休憩時間

13:45～14:30 授業 / 5時間目

休憩時間

14:35～14:45 終わりの会

※学校によって、時間が異なる場合もあります。
※時間割編成を行い6時間授業を行う学校もあります。

参考) 6時間授業6時間目14:35～15:20
終わりの会15:25～15:35

決まった通学路を通して登校します。

健康のチェックをしたり、朝の学習をしたり、朝の遊びをクラスで楽しんだりする学校もあります。全校で朝会もあります。

休憩時間にはトイレに行ったり、次の学習の準備をしたりします。

長い休憩時間には外(運動場)に遊びに出て遊んでいます。

給食当番はエプロンなどに着替えて、給食の配膳をします。アレルギーなどで配慮が必要な場合は、学校にご相談ください。



1年生のはじめは、6年生(高学年)などに掃除を手伝ってもらったり、教えてもらったりしながら、自分たちの学校をきれいに清掃します。

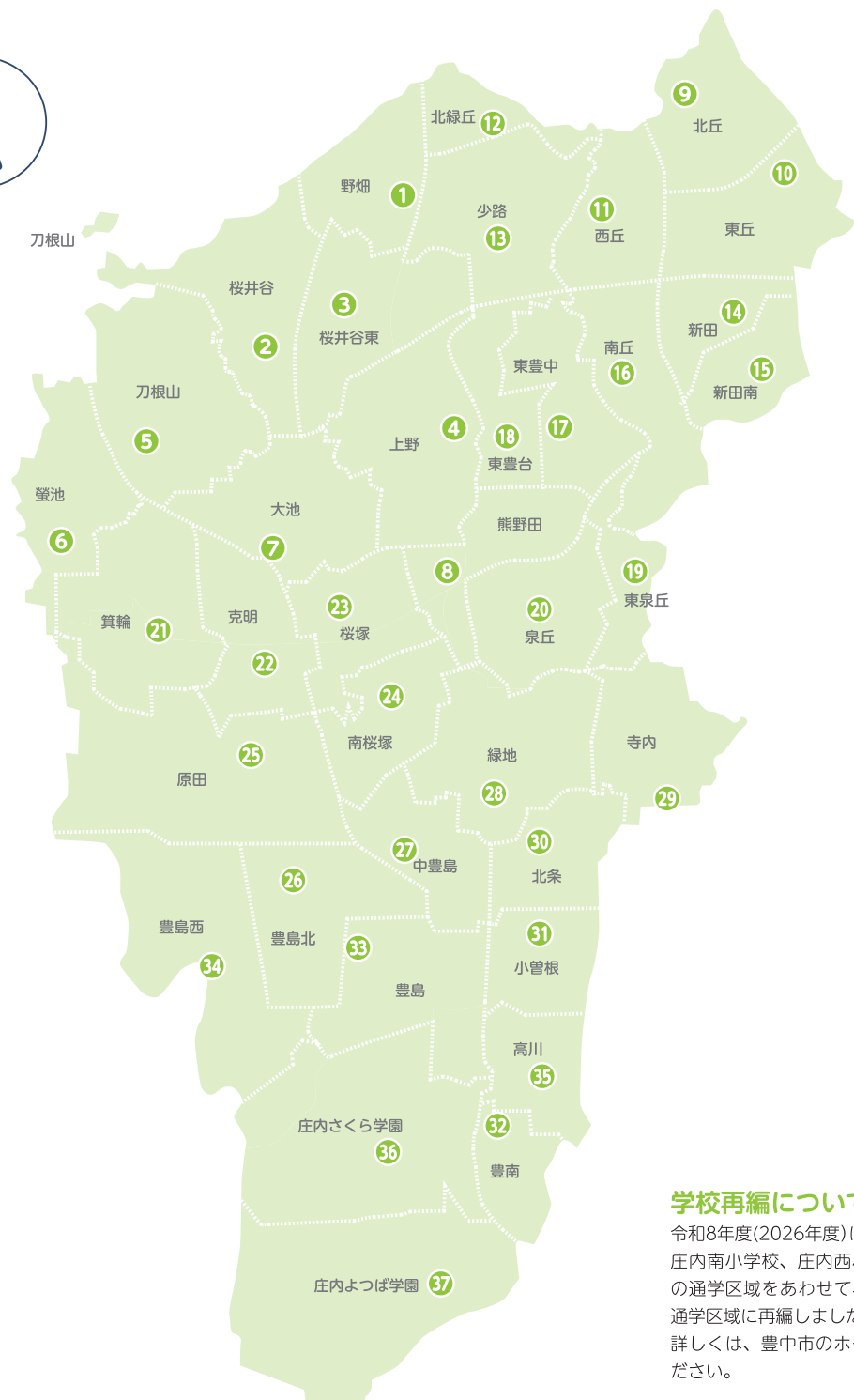
今日1日のことを振り返ったり、明日の連絡を聞いたりします。

決まった通学路を通して下校します。

Point
4

校区を 確認しておきましょう。

豊中市教育委員会では、市立小学校・義務教育学校ごとに通学区を定めています。
お住まいの場所により入学する学校を指定していますのでご確認ください。



学校再編について

令和8年度(2026年度)に、
庄内南小学校、庄内西小学校、千成小学校
の通学区をあわせて、庄内よつば学園の
通学区に再編しました。
詳しくは、豊中市のホームページをご覧ください。

豊中市立小学校・義務教育学校区一覧

※令和8年度現在

施設名	町名(番地)
① 野畑小学校区	永楽荘／春日町3～5／向丘2・3
② 桜井谷小学校区	柴原町／待兼山町(大阪大学北側＝1・20～38番)／宮山町
③ 桜井谷東小学校区	上野西4(5～9番)／桜の町／少路／春日町1・2／向丘1
④ 上野小学校区	上野坂／上野西1～3・4(1～4番)／上野東
⑤ 刀根山小学校区	刀根山／刀根山元町／石橋麻田町／清風荘／螢池東町／待兼山町(大阪大学南側＝1・2～19番)
⑥ 螢池小学校区	螢池北町／螢池中町／螢池西町／螢池南町
⑦ 大池小学校区	千里園／本町
⑧ 熊野田小学校区	赤阪／熊野町／粟ヶ丘町／夕日丘1・2／中桜塚5(1・3～10番)
⑨ 北丘小学校区	新千里北町
⑩ 東丘小学校区	新千里東町
⑪ 西丘小学校区	新千里西町
⑫ 北緑丘小学校区	北緑丘／西緑丘3(10～26番)
⑬ 少路小学校区	西緑丘1・2・3(1～9番)／緑丘
⑭ 新田小学校区	上新田1・2
⑮ 新田南小学校区	上新田3・4
⑯ 南丘小学校区	新千里南町
⑰ 東豊中小学校区	東豊中町3・4(6～23番)・5・6(13番)
⑱ 東豊台小学校区	東豊中町1・2・4(1～5番)・6(13番以外)
⑲ 東泉丘小学校区	東泉丘2～4／西泉丘3(1～11番※19番地を含む)／服部緑地(府道熊野大阪線以北)
⑳ 泉丘小学校区	西泉丘1～2・3(12番)／東泉丘1／旭丘／広田町
㉑ 箕輪小学校区	立花町3／玉井町3・4／走井／箕輪／山ノ上町
㉒ 克明小学校区	岡町／岡町南1(1～5番)／岡町北／末広町／立花町1・2／玉井町1・2／宝山町
㉓ 桜塚小学校区	中桜塚1(1～10番)・2(1～20・26～29番)・3(1～6番)・4(1～6番)・5(2・11～14番)／岡上の町／北桜塚
㉔ 南桜塚小学校区	中桜塚1(11～24番)・2(21～25・30～31番)・3(7～15番)・4(7～15番)・5(15～24番)／南桜塚1～3・4(1～8番)／曽根東町1
㉕ 原田小学校区	岡町南1(6～13番)・2・3／勝部／曽根西町／原田中／原田元町／原田西町(原田・伊丹線以北)／南空港町
㉖ 豊島北小学校区	曽根南町／利倉東／服部寿町4・5／服部西町4・5／服部豊町
㉗ 中豊島小学校区	城山町1・2／曽根東町2～6／服部本町／服部元町
㉘ 緑地小学校区	長興寺北／長興寺南／南桜塚4(9～19番)／夕日丘3／城山町3・4／服部緑地(府道熊野大阪線以北を除く回転大花壇以西)
㉙ 寺内小学校区	寺内／東寺内町／服部緑地(府道熊野大阪線以北を除く回転大花壇以東)
㊳ 北条小学校区	若竹町／北条町
㊴ 小曾根小学校区	小曾根1～3／浜1・2
㊵ 豊南小学校区	豊南町西2・3(15～20番)・4・5／豊南町南／豊南町東4
㊶ 豊島小学校区	稲津町／服部南町／穂積／服部寿町1～3／服部西町1～3
㊷ 豊島西小学校区	今在家町／上津島／名神口1／利倉／利倉西／原田南／原田西町(原田・伊丹線以南)
㊸ 高川小学校区	小曾根4・5／浜3・4／豊南町西1・3(1～14番)／豊南町東1～3
㊹ 庄内さくら学園校区(義務教育学校)	庄内幸町／庄内西町／庄内東町／野田町／庄内栄町／庄内宝町1・2(1番～7番)・3／名神口2～3
㊺ 庄内よつば学園校区(義務教育学校)	大島町／島江町／庄内宝町2(8～10番)／庄本町／千成町 大黒町／二葉町／神州町／三和町／日出町／三国

こどもの居場所



赤ちゃんの駅

乳幼児も小学生も一緒にあそべるスポット

武道館ひびき

親と子のふれあい広場

週に1度、420畳もある柔道場で元気いっぱい自由にあそんでいただけます。柔らかな畳敷きなので、素足でも安心です。**※靴不要**

服部西町4-13-2 ☎06-6864-2288

- 対象** 幼児・小学生と保護者
- 参加費** 幼児・市内在住の小学生無料
大人(市内在住・在勤・在学)3時間以内400円
- 開所日時** 毎週金曜日
9:00~17:00
休日・休館日を除く

※毎月末日、年末年始は休館。
末日が日曜日または祝日、休日の場合は前日休館



詳しくはこちら



青少年交流文化館いぶき

ほんのひろば

幼児から高校生年代対象の図書を備え閲覧・貸し出しを行っています。

服部西町4-13-1

☎06-6866-3030

- 対象** どなたでも
- 利用料** 無料
- 開催日時** 火・水・金・土・日曜日
9:30~17:00
祝日・休館日を除く



詳しくはこちら



人権平和センター豊中

こどもたちの放課後などの居場所として、遊んだり宿題をしたりしながら過ごせる多世代が集える場を設けています。

岡町北3-13-7 ☎06-6841-5300
(一財)とよなか人権文化まちづくり協会)

- 対象** どなたでも
- 参加費** 無料
- 開所日時** 火・水曜日 15:00~18:00
土曜日・春夏秋冬休み 11:00~17:00
祝日・休館日を除く
※時期により開所時間に
変更あり

参加受付 随時



詳しくはこちら



人権平和センター螢池

こどもたちの放課後などの居場所として、遊んだり宿題をしたりしながら過ごせる多世代が集える場を設けています。

螢池北町2-3-1 ☎06-6841-2315
(一財)とよなか人権文化まちづくり協会)

- 対象** どなたでも
- 参加費** 無料
- 開所日時** 火・水曜日 15:00~18:00
土曜日・春夏秋冬休み 11:00~17:00
祝日・休館日を除く※時期により開所時間に
変更あり
- 参加受付** 随時

プレイルームの開放 ☎06-6841-5326

- 対象** 就学前のこどもと保護者
- 利用料** 無料
- 開室日時** 月~土曜日 9:30~16:30



詳しくはこちら



子育て中の保護者の居場所

とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ

すてっぷは、男女共同参画社会の実現に向けて設置された施設。貸室、情報ライブラリー、相談事業のほか、講座やイベントも開催しています。(キッズスペースあり)

玉井町1-1-1 エトレ豊中5F ☎06-6844-9772

9:00~21:30(水曜日、年末年始休館)

【保育つきライブラリー】 **要予約** お申し込みは ☎06-6844-9735

- 対象** 1歳~就学前までの子を持つ保護者
- 利用料** こども1人200円
- 開放時間** 基本毎月第2・4月曜日



詳しくはこちら

こども・子育てスペース

ほかにも、市の施設をこどもたちの居場所として開放しています。

豊中市では、こどもたちが勉強したりあそんだり休憩したり、気軽に自由に使えるスペースを確保する取り組みを進めています。ぜひご利用ください。

豊中市 こども・子育てスペース一覧 🔍

- 対象** 乳幼児・小・中・高校生と保護者
- 参加費** 無料

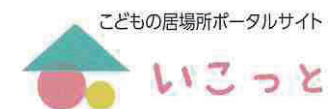
※利用可能日、時間等、各施設の詳細については、各施設のホームページをご覧ください。また、利用に関するご質問等は、各施設に直接お問い合わせください。

ひろがる

地域の多様なこどもの居場所

だれでも行けるこどもの居場所

地域のこどもの居場所は、『ぐーてん子ども食堂』から始まり、現在は約90か所まで広がりました。こどもたちが「居たい」「行きたい」「やってみたい」と思える場を見つけられる環境を整え、地域全体で支えています。



こどもの居場所マップ



こども食堂ネットワーク
(豊中市社会福祉協議会)



教育・保育

子育てを応援している ボランティア

豊中には、身近な立場から子育てを支えようと活動している団体がたくさんあります。

※掲載団体以外にも多くの団体が活動しています。
ホームページなどご確認ください。

豊中市立市民公益活動支援センター

☎06-6398-9189

10:00～19:00（水・金曜日は～21:00）

（日・月曜日・祝・休日、12月29日～1月3日を除く）



にこにこエプロン

経験豊富なスタッフが、産前産後のママとこどもをサポートします。



活動内容

- 産前産後サポート
- 保育のサポート
- 子育て広場・講座

詳細・お問い合わせ

ホームページまたはLINE、メールで
✉ nikoniko.apron.0215@gmail.com

LINE



HP



ママの働き方応援隊 大阪北摂校

子育てがあなたの強みになる働き方や考え方を教えてください。



活動内容

- 赤ちゃん教室
親子で高齢者施設や教育機関を訪れ、みんなを笑顔にしながら命の尊さを伝えます。
- 各種講座・教室
- イベント企画・運営

HP



詳細・お問い合わせ

Instagramまたはメールで

●Instagramから
@mamahata_osaka_hokusetsu
✉ osaka-hokusetsu@mamahata.net

ふたごさんあつまれ

ふたごやみつこの妊娠中から子育て期を応援！



活動内容

- 交流会
- 季節イベント
ほか

詳細・お問い合わせ

ホームページまたはLINEから

HP



LINE



MerryTime

「あそびが一番！！」こどもも大人もワクワクする瞬間を大切にしながら、地域で子育てを楽しむ活動を展開しています。



活動内容

- 親子の居場所（乳幼児）
- 未就園児のあそび場（親子分離）「わんぱくらんど」
- 体験型プログラム・一時預かり（幼児～小学生）
- みんなの居場所「あんどーなつ」※寺内

詳細・お問い合わせ

電話またはメールで

☎072-737-8109

✉ wakuwakukodomomura@gmail.com

HP



赤ちゃんからのESD coral

子育てママが学ぶ、楽しむ、ともだちをつくる



活動内容

- ワークショップ
- おしゃべり交換会
- おさがり服交換



Instagram



詳細・お問い合わせ

ホームページまたは
Instagram から
@coral_toyonaka

豊中のパパママが知りたい
情報を発信する
「とよなか子育て応援マガジン」

SMILE

SMILE 豊中



豊中で子育て中のママたちが自分たちの日常から得たリアルな情報を伝えています。年2回3月・9月に発行。図書館や市役所、子育て支援センターなどに設置されています。

